



MD/HDD Car Navigation System

取付説明書

NVA-HD55

目次

安全にお使いいただくために 2

1. はじめに 4

2. GPS アンテナ取付 6

3. INA-HD55/INA-HD55EU 購入の場合（ビーコンアンテナの取付） 7

4. 接続する 10

5. ナビゲーション本体を取り付ける 18

6. 確認する 20

7. システム接続状況を知る 21

販売店様へ

製品取り付け後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。
火災・故障の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



アンテナは、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。



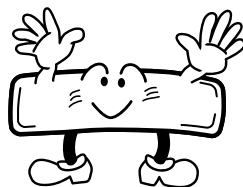
注意

- ハードディスク(HDD)は強磁界に弱い為、ナビゲーションにスピーカーやGPSアンテナなどの磁力を持つ製品を近づけないでください。HDD内のデータが消去される場合があります。
- 本機はインダッシュに取り付けてください。

1. はじめに

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げ店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げ店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード



家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。

カーオーディオはもちろん家庭のステレオ / ビデオ / テレビ等に幅広く採用されています。

白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について
“メモリスティック”の出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して35度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げ店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

1 付属部品を確認し、工具 / 取り付け情報をそろえる。

ナビゲーション取付用部品

サラネジ (M4 × 3)



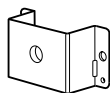
× 8

ワッシャー付きネジ
(M4 × 6)



× 4

ブラケット



バインドネジ (M2.6 × 4)



× 2

GPSアンテナ取付用部品

GPSアンテナ
(5m)



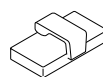
防水パッド
(GPSアンテナ用)



アンテナ取り付け
プレート



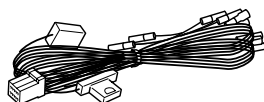
コードクランプ



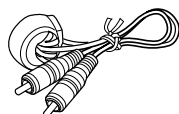
× 3

コード類・その他

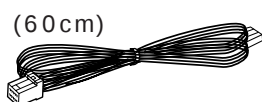
電源コード



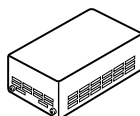
COAXタイプ同軸
ケーブル (1m)



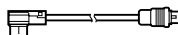
DC-DC用接続ケーブル
(60cm)



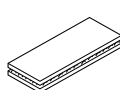
DC-DCコンバーター



Ai-NETコード
(3m)

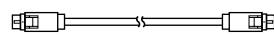


マジックテープ

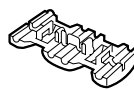


× 2

RGBコード
(3m)



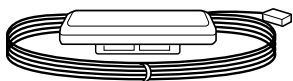
圧着コネクター



× 3

ビーコン取付用部品(INA-HD55/INA-HD55EUのみ)

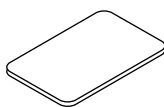
ビーコンアンテナ
(7m)



角度調整台座

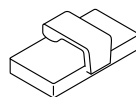


両面テープ



大×1、中×1、
小×2

コードクランプ



×3

- 2 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー(エンジンキー)を抜く。

- 3 バッテリーのマイナス端子を外す。



Memo

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種(外国車など)では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

- 4 灰皿、小物入れなどを外し、パネル(インパネ)を外す。

- 5 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。

- 6 オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、「5.ナビゲーション本体を取り付ける」で利用します。)



Memo

- ナビゲーションの付けかえ等でGPSアンテナを取り外すときには、アンテナ取り付けプレートを忘れずにいっしょに取り外すようにしてください。
また、取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。

2. GPS アンテナ取付

ご注意

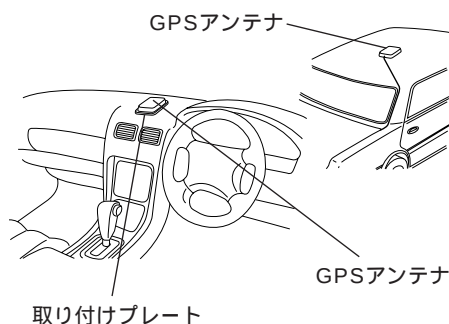
車種によっては熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスがあります。このガラスは電波を通しにくい性質がありますので、この場合は車外に取り付けることをおすすめします。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。



- アンテナの磁石は非常に強力です。車体に傷が付かないよう慎重に作業してください。また、磁気に弱いもの(磁気カード、時計など)には近づけないでください。
- アンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり、曲げたりしないでください。
- アンテナには、塗装しないでください。受信性能が落ちる場合があります。
- 洗車の際に、圧力がかかった水が直接アンテナにかからないようにしてください。アンテナ内部に水が侵入すると受信性能が落ちる場合があります。
- アンテナ取り付けプレートは、車内用です。車外には使用しないでください。
- なるべく水平になるように取り付けてください。傾いた取り付けは、感度低下の原因になります。
- 別売のETCユニットやビーコンユニット、GPSアンテナ等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意の上、他機器とは十分な間隔を確保してください。なお、ナビゲーションともできるだけ離して取り付けてください。

1

- アンテナをルーフに取り付けるとき。
貼り付け面の汚れを落としてから、アンテナを貼り付ける。
- アンテナをダッシュボード・リアトレイに取り付けるとき。
- 貼り付け面の汚れを落としてから、取り付けプレートを貼り付ける。
- 取り付けプレートにアンテナを貼り付ける。
- なるべくガラス面に近い位置に取り付ける。

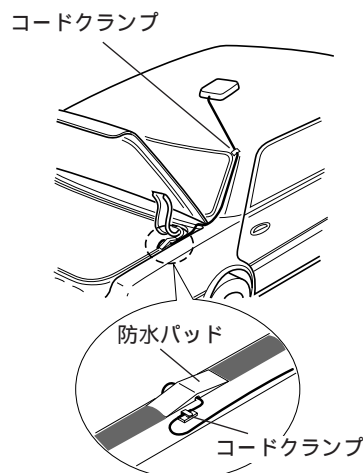


2

- コードを固定する。
コードクランプでコードを固定する。防水パットの前後のコードをコードクランプで固定し、車の防水ゴムが接触する部分に、パッドを移動させる。



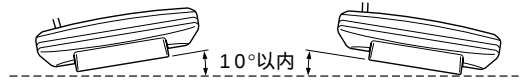
トランクの開閉で、防水パッドが移動しない様にコードクランプを固定してください。



上記例のような車の場合、図のようにコードを固定すると、さらにトランク内部に水が入るのを防ぎます。

3. INA-HD55/INA-HD55EU 購入の場合 (ビーコンアンテナの取付)

- 1** 貼り付け位置を確認する。
ダッシュボード上部のなるべく中央付近で左右の傾きが10度以内で、アンテナの角度を水平面に対して45度(±10度)になるような場所で、できるだけフロントガラスに近い位置に取り付け位置を決めます。
ダッシュボードの傾きにに応じて、付属の角度調整台座を使用してください。



- ビーコンアンテナは無線および光通信を行っておりますので、フロントガラス側には物を置かないでください。通信ができなくなる場合があります。
- 光ビーコンの設置位置は車線中央になっています。この信号を安定して受信するためには、ビーコンアンテナをフロントガラスに近い位置で、さらにコンソール中央に取り付けすることをおすすめします。受信感度に問題なければ、取り付け位置をかえても問題ありません。
- 空調機の吹出しがビーコンアンテナに直接かからない位置に取り付けてください。
- 別売のETCユニットやGPSアンテナ等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意の上、他機器とは十分な間隔を確保してください。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくは、カーディーラーへお問い合わせください。

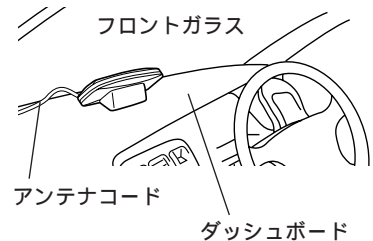
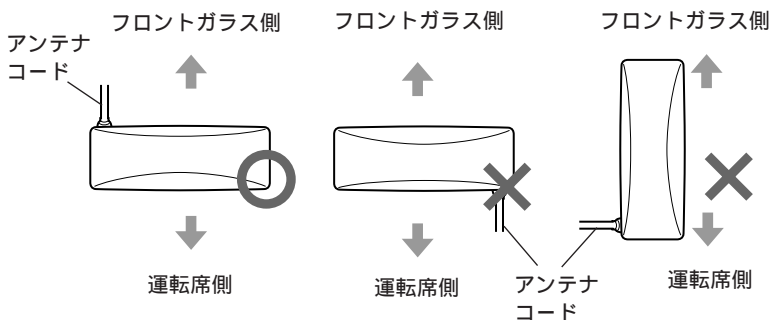


警告

助手席エアバッグの近くにビーコンアンテナを取り付けない。

■ ビーコンアンテナ取り付け方向位置

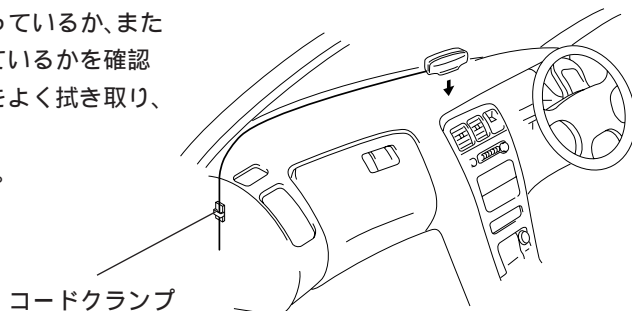
取り付けの際は、必ずフロントガラス側方向にアンテナコードを向けて取り付けてください。
取り付け方向を間違えるとVICSビーコン情報が受信できませんので、ご注意ください。



2 ビーコンアンテナを貼り付ける。

角度が水平面に対して $45^\circ (\pm 10^\circ)$ になっているか、またアンテナコードがフロントガラス面に向いているかを確認し、貼り付ける面の光沢剤、湿気・ゴミ・油等をよく拭き取り、貼り付ける。

コードは、コードクランプを使って固定する。

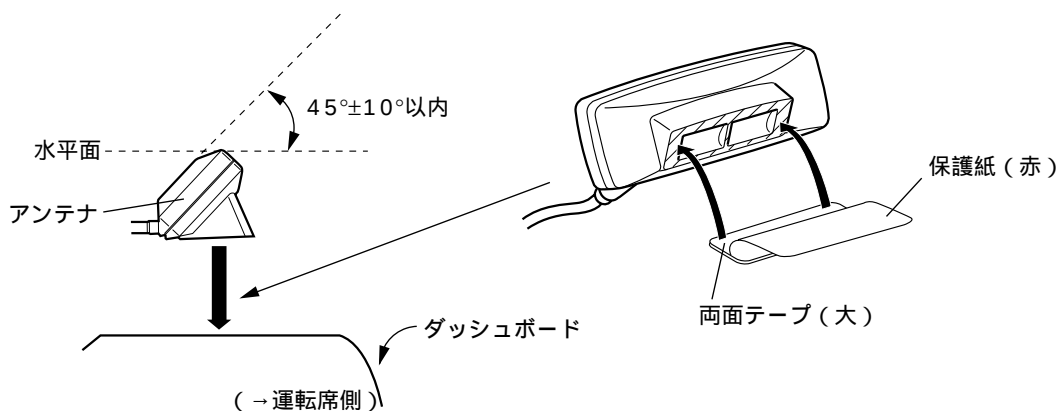


- 車内温度が低い時(冬季)には、貼り付ける側をドライヤーで暖めてから、貼り付けてください。
- 貼り付けたあと、24時間以内は湿気や力を加えないでください。
- <ビーコンアンテナのお手入れ>

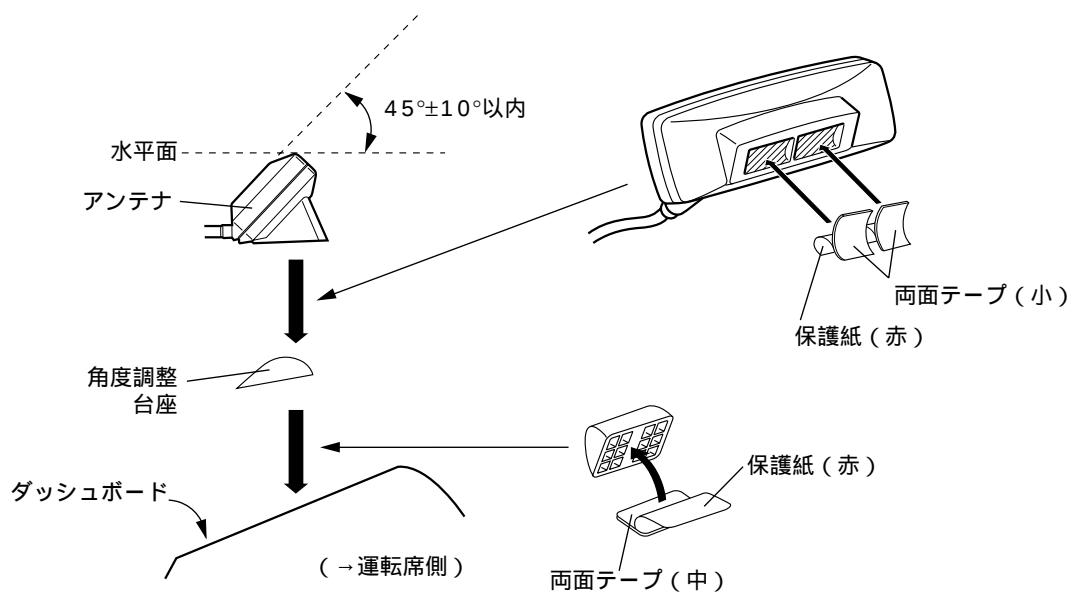
柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどい時は、中性洗剤を水で薄めてから柔らかい布に含ませ、固くしぼってから拭いてください。ガラスクリーナー、アルコール類などは使用しないでください。変色、変形する場合があります。

■ 平面取り付けの場合

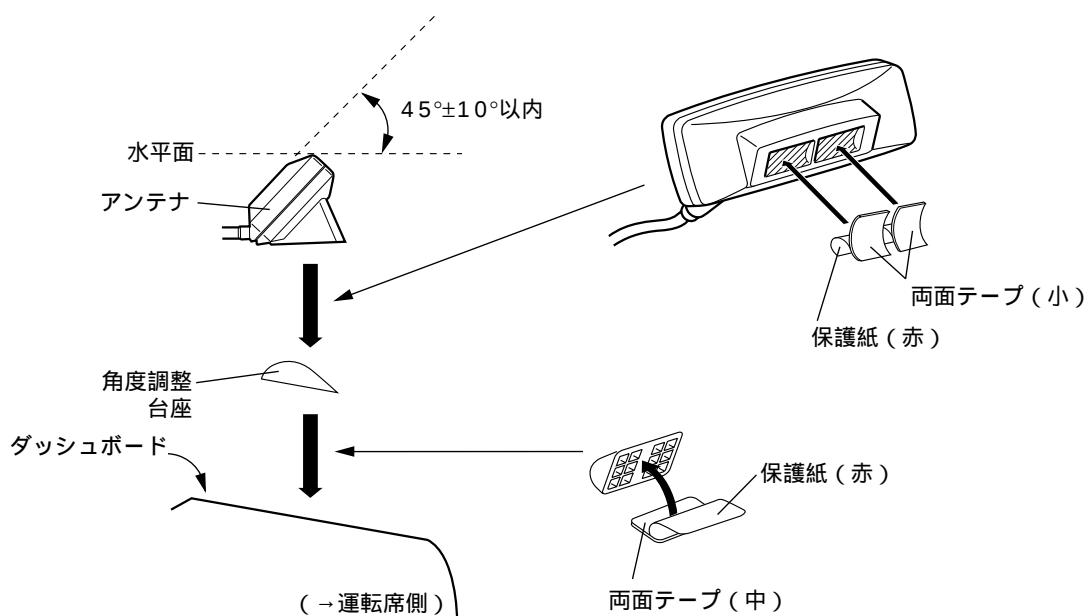
(ダッシュボードの傾き - $10^\circ \sim 0^\circ$ 位)



■ 前方傾斜取り付けの場合
(ダッシュボードの傾き - 25 ~ - 11 °位)



■ 後方傾斜取り付けの場合
(ダッシュボードの傾き 0 ~ - 11 °位)



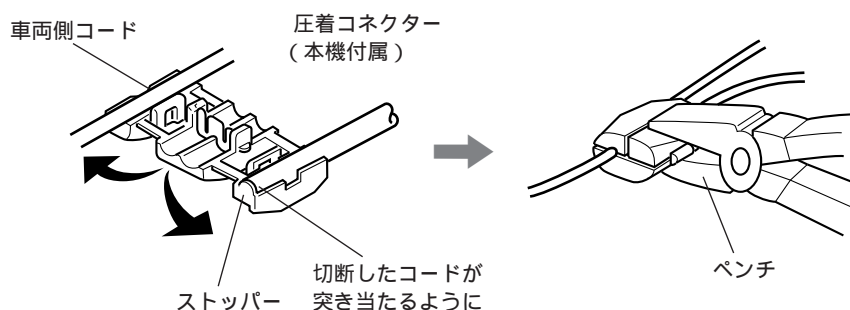
4. 接続する 接続するごとに ☐OK に✓点をつけてください。

1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 車両ハーネスを確認する。

必要に応じて圧着コネクタを装着する。



3 接続する。



注意

正しい接続をする。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

■ スイッチの切りかえについて

スイッチを理解する。

本機の取り付け前に必ず、システムスイッチの切りかえを行ってください。

- 本機にAi-NET対応のヘッドユニットを接続するときは「1. Ai-NET」に切りかえてください。
- Ai-NET対応のヘッドユニットと接続しないときは「2. STANDALONE」に切りかえてください。

切りかえは次の手順で行ってください。

1 電源コードを抜く。

2 棒状のものを垂直に挿入する。

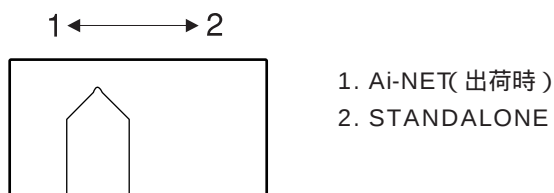
3 指定のポジションに切りかえる。

4 電源コードを接続する。

■ システムスイッチ

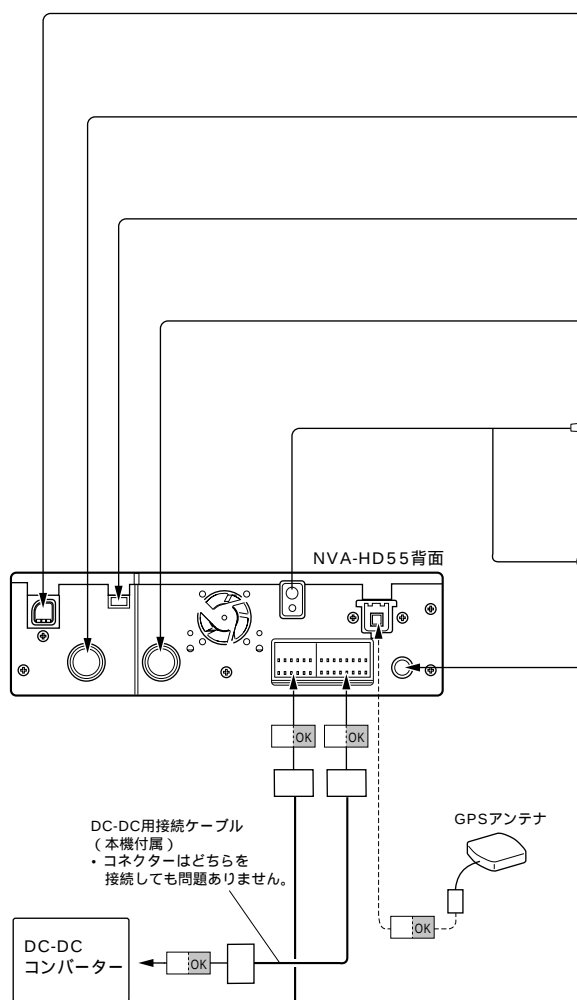
本機にAi-NET対応のヘッドユニットを接続するときは、「1. Ai-NET」に設定してください。

本機底面部



- Ai-NET対応ヘッドユニットと接続しない場合、システムスイッチは「2. STANDALONE」に切りかえてください。

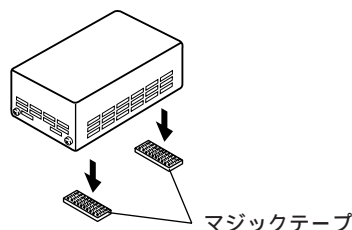
● 基本接続図



- RGB出力端子
RGBコードを使い、モニターのRGB入力端子へ接続します。
- Ai-NET入力端子(灰 IN)
Ai-NETチェンジャーなどでシステムアップするときに使用します。
- ETC端子
別売のETCユニット(HCE-B013/HCE-B023)とシステムアップするときに使用します。(14ページ参照)
- Ai-NET出力端子(黒 OUT)
Ai-NET対応のヘッドユニットまたはデジタル・オーディオ・プロセッサなどへ接続します。
- BEACON入力コネクター
別売のビーコンユニット(HCE-T052など)とシステムアップするときに使用します。(INA-HD55/INA-HD55EUのお客様はビーコンユニットが添付されております。14ページ参照)
- COAX入力コネクター 4
COAXタイプ同軸ケーブルを使い、COAX対応ヘッドユニットのCOAX出力端子へ接続します。 3
- FM VICS端子 1
TVアンテナのFM多重用アンテナジャックを接続します。 2

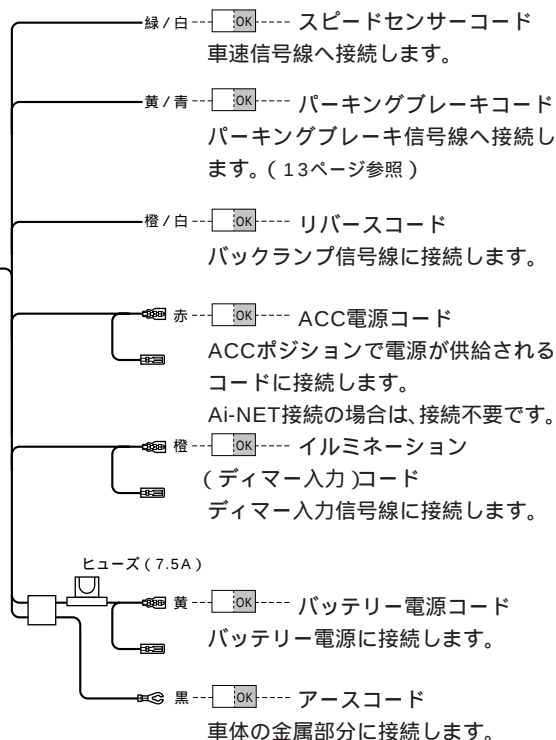
■ DC-DCコンバーターを取り付ける

DC-DCコンバーター底面にマジックテープのざらざらしたほう2枚を貼ります。次に、マジックテープのやわらかいほう2枚を取り付け位置に貼り、DC-DCコンバーターを取り付けます。



⚠ 注意 DC-DCコンバーター取り扱い上のご注意

- DC-DCコンバーターは、フロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
- DC-DCコンバーターのケーブルは他のオーディオケーブルと一緒に束ねたり、また本体に接触させないでください。雑音の原因になります。
- DC-DCコンバーターは熱を持ちますが、故障ではありません。



- IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300Jと組み合わせる場合、IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300Jの接続については、IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300J側の取扱説明書をご覧ください。

- 1 FM多重用アンテナジャックをFM VICS端子に接続する場合は、「奥までしっかり差し込んで」ください。
差し込みがあまりい場合は、FM多重放送の受信ができません。
- 2 TVアンテナの1本をFM多重受信用としてお使いの場合は、TVを見ていないときでもFM多重用のアンテナエレメントを伸ばしてご使用ください。
- 3 COAXタイプ同軸ケーブルは必ず接続してください。
- 4 COAX端子には、付属のCOAXケーブルを使用し、COAX対応ヘッドユニットのCOAX出力からの信号以外は入力しないでください。



- 「FM」と標記されたアンテナジャック1本は、FM多重受信用として本機のFM VICS端子に接続し、残り3本のアンテナジャックはモニターのチューナーボックスに接続しTVアンテナ用にご使用ください。TVアンテナは、アンテナジャック3本でも十分な受信感度が確保されます。なお、「FM」と標記しているアンテナジャックをTVアンテナへ接続しても問題はありません。
- TVアンテナコードはナビゲーション本体や他のコード類からなるべく離して配線してください。近づけたり、他のコード類と束ねたりするとノイズの原因になります。
- ナビゲーション本体とTVチューナーは、なるべく離して取り付けてください。

コード名称	補 足 説 明
イルミネーションコード (ディマー入力コード)	照明(ポジションランプなど)の状態を本機に伝えるため、照明(ポジションランプなど)をONにしたとき電源が供給されているところに接続してください。 メーター照明が調整できる車の場合：車の照明をONにして、画面が「ちらつく」ときは、他のコード(スモールライトコードなど)へ接続してください。
パーキングブレーキコード	パーキングブレーキの状態を本機に伝えるため、パーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。 パーキング線が無い車の場合は、お買い上げ店へお問い合わせください。
アースコード	車のボディーの金属部分に確実に接続してください。不十分ですと雑音や誤動作の原因になります。
スピードセンサーコード	走行距離を計測するために車速パルスを利用します。車速パルスコードは車種/年式によって違い、間違った接続は車に重大な影響(ブレーキが効かなくなるなど)を与えますので、販売店に問い合わせ確実に接続してください。(販売店での接続をお勧めします。)
ACC電源コード	エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。 ACCポジションで電源が供給されるコードに接続してください。Ai-NET接続の場合は、接続不要です。
バッテリー電源コード	常に電源が供給される(バッテリー電源プラス)コードに接続してください。
リバースコード	車のバック時に自車位置精度を向上させるために、車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。シフトレバーのバック(R)に連動して、自車マークがバックするようになります。バックカメラ接続時には、シフトレバーのバック(R)に連動してバックカメラの映像に自動的に切りかえます。

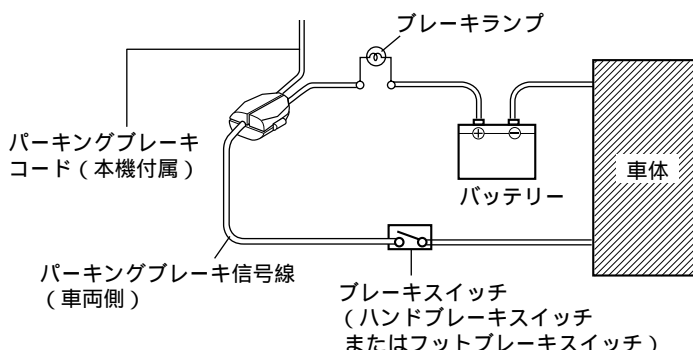
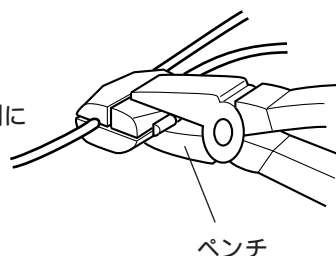
パーキングブレーキコードを接続する。

車両側のパーキングブレーキ信号線に、

パーキングブレーキコードを圧着コネクタを使用して接続する。

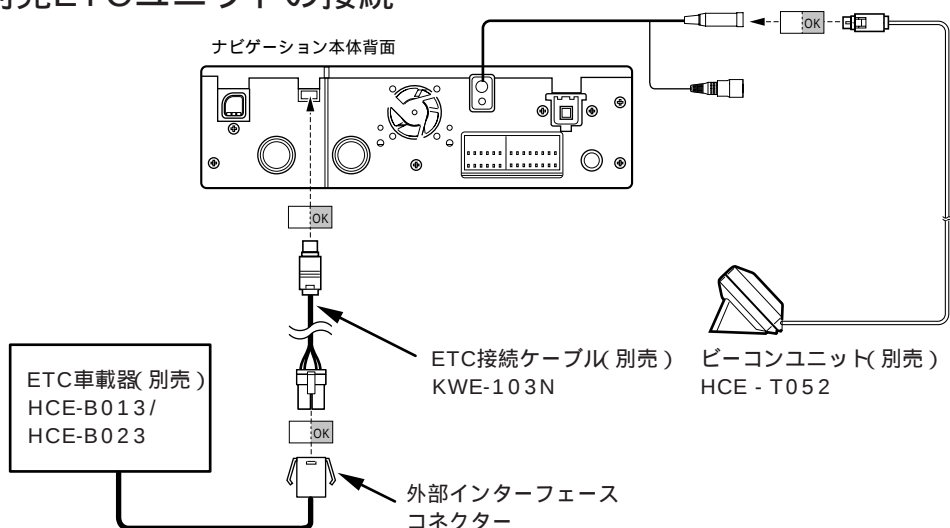
パーキングブレーキコードは、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続する。

パーキングブレーキコードは、必ず接続してください。



パーキング線が無い車の場合など不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

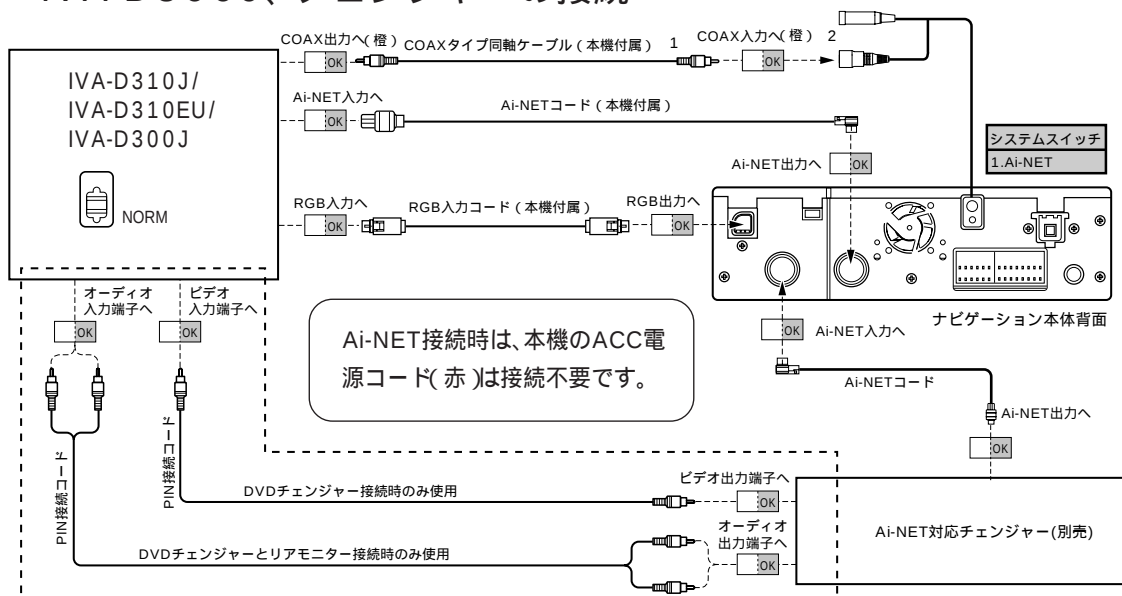
● NVA-HD55と別売ビーコン(INA-HD55/INA-HD55EUは添付) 別売ETCユニットの接続



Memo

- ビーコンユニット・HCE-T052をご使用ください。
- 別売ETCユニット・HCE-B013/HCE-B023を接続する際、専用の別売ETC接続ケーブル(KWE-103N)が必要です。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● NVA-HD55とIVA-D310J/IVA-D310EU/ IVA-D300J、チェンジャーの接続



1 COAXタイプ同軸ケーブルは必ず接続してください。

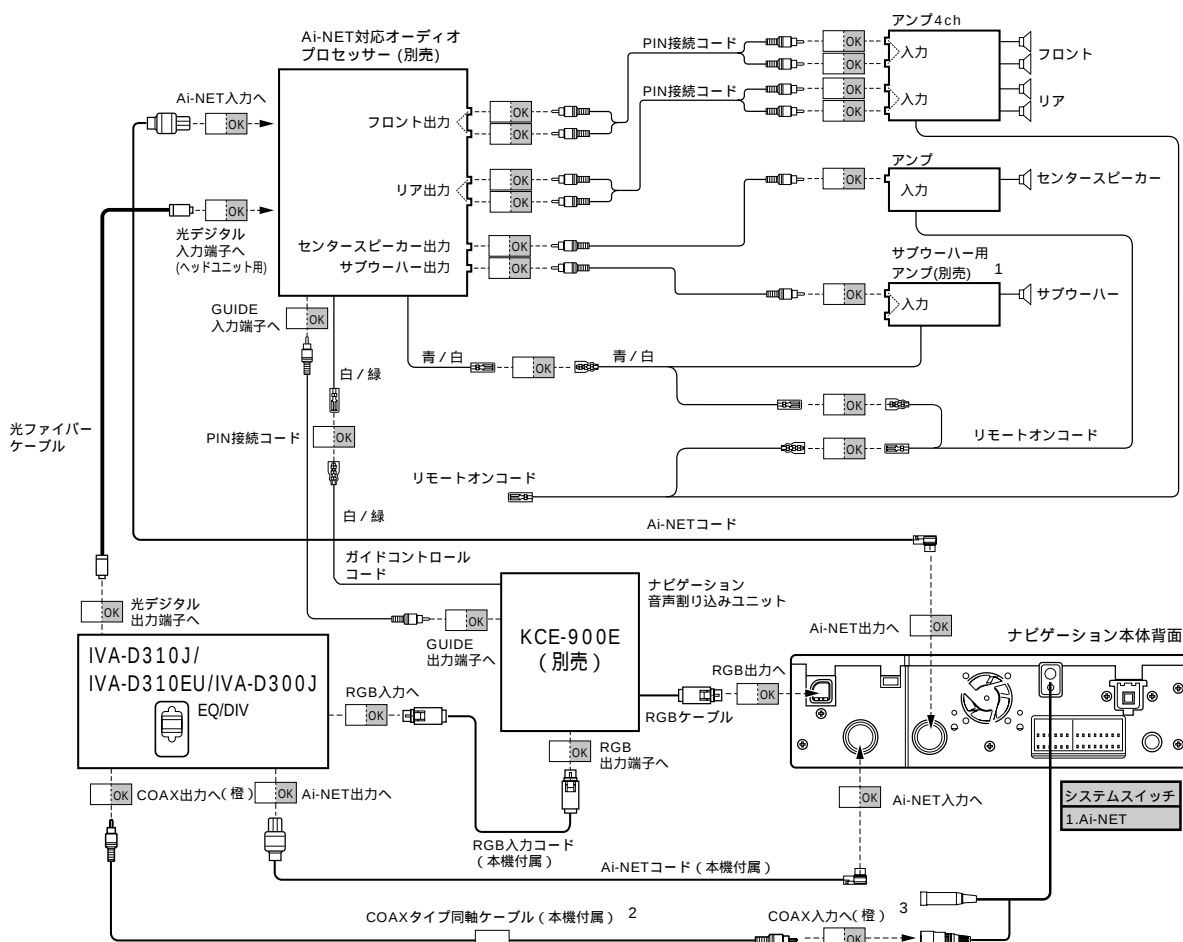
2 COAX端子には、本機付属のCOAXケーブルを使用し、ヘッドユニットのCOAX出力からの信号以外は入力しないでください。



Memo

- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300Jの接続については、IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300J側の取扱説明書をご覧ください。

● NVA-HD55とIVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300J、 Ai-NET対応オーディオプロセッサの接続(外部アンプ使用時)



- 1 ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。
- 2 COAXタイプ同軸ケーブルは必ず接続してください。
- 3 COAX端子には、本機付属のCOAXケーブルを使用し、ヘッドユニットのCOAX出力からの信号以外は入力しないでください。



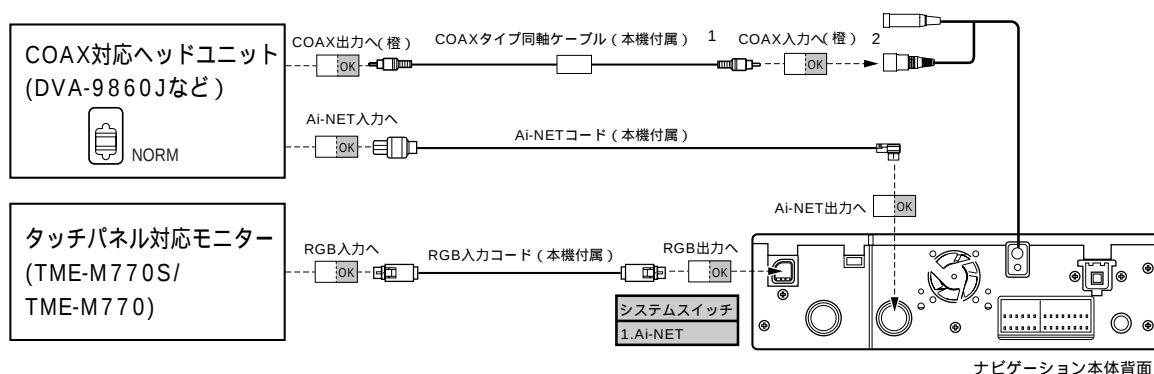
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 別売の外部スピーカー-KAX-551Nが必要になる場合があります。
- その他の複雑なシステムについては、お買い上げ店へご相談ください。
- IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300Jの接続については、IVA-D310J/IVA-D310EU/IVA-D300J側の取扱説明書をご覧ください。
- Ai-NET接続時は、本機のACC電源コード(赤)は接続不要です。

⚠ 注意

光ファイバーケーブルをご使用になるときは、次の点に注意してください。

- 光ファイバーケーブルを束ねるときには、小さく束ねないでください。(最小曲げ半径は、30mmです)
- 光ファイバーケーブルに製品などを載せないでください。

● NVA-HD55とCOAX対応ヘッドユニット(DVA-9860Jなど) タッチパネル対応モニター(TME-M770S/TME-M770)の接続

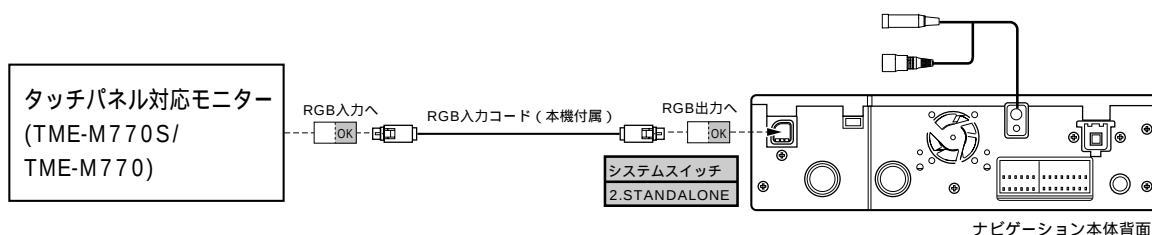


- 1 COAXタイプ同軸ケーブルは必ず接続してください。
- 2 COAX端子には、本機付属のCOAXケーブルを使用し、ヘッドユニットのCOAX出力からの信号以外は入力しないでください。



- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- Ai-NET接続時は、本機のACC電源コード(赤)は接続不要です。

● NVA-HD55とタッチパネル対応モニター(TME-M770S/ TME-M770)の接続(Ai-NET接続しない場合)



- この接続では、HDD AUDIO/MD機能が利用できません。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

4 正しく接続されているか、✓点がもれているところはないか確認する。

5 バッテリーマイナス端子を接続する。

6 エンジンキーをON にしてヘッドユニットまたはモニターと本機の電源を入れ、画面や音声
が正しく出ているかなどを確認する。
固定する前に動作確認しておけば安心です。
正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。

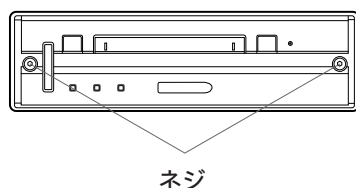
7 ヘッドユニットまたはモニターと本機の電源を切る。

8 エンジンキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

5. ナビゲーション本体を取り付ける

ナビゲーション本体取り付け上のご注意

- HDDは強磁界に弱い為、データが消去される場合があります。ナビゲーション本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。
- 車内の温度が低い(0 以下) 場合ではHDDが正常に動作しない場合があります。常温になってからお使いください。
- HDDは精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、ナビゲーション本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えないでください。
- 下図のネジはHDDバージョンアップの時に使用します。通常は絶対に外さないでください。



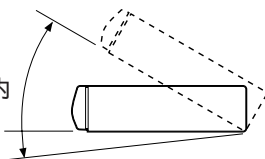
<ナビゲーション本体の取り付け角度>

- 本機取り付け角度は、下記どちらかのパターンの角度の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、HDDの故障の原因となります。

パターン1

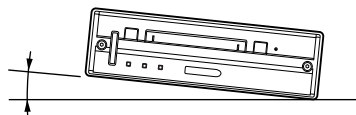
(側面)

- 5度 ~ 35度以内



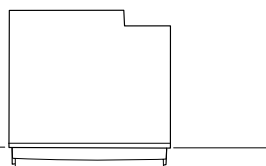
(正面)

± 5度以内



(天面)

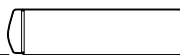
0度



パターン2

(側面)

0度(水平)



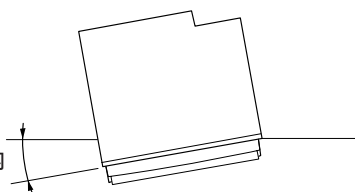
(正面)

0度(水平)



(天面)

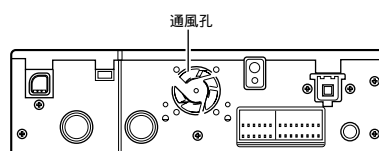
± 10度以内





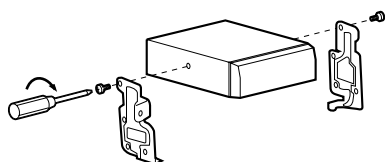
注意

通風孔や放熱版をふさがない。
通風孔・放熱版をふさがないでください。
通風孔・放熱版をふさぐと内部に熱がこもり、
火災・故障の原因になります。



1 “メモリースティック”の出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

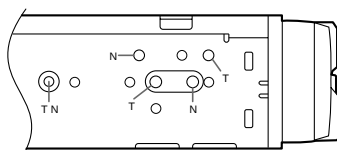
2 ナビゲーション本体にブラケットを付属のサラネジ (M4 × 3) でしっかり取り付ける。



Memo

付属のサラネジ (M4 × 3) 以外で製品を固定した場合は動作不良の原因になります。必ず、付属のサラネジ (M4 × 3) を使用して取り付けてください。但し、サラネジ (M4 × 3) で取り付けられない場合のみ付属のワッシャー付きネジ (M4 × 6) を使用してください。

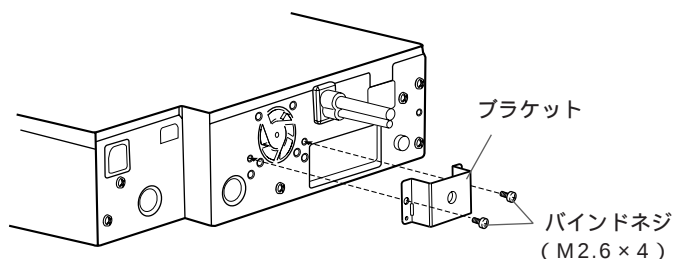
取り付け用ネジ穴



N 穴→ニッサン車専用
T 穴→トヨタ・三菱車専用

- マツダ車、欧州車に取り付ける場合

マツダ車、欧州車に取り付ける場合は、ナビゲーション背面に付属のブラケットを付属のバインドネジ (M2.6 × 4) でしっかり取り付けてください。



Memo

ブラケットを取付後、Ai-NET出力端子に接続されているAi-NETコードを抜く場合は、ブラケットを取り外してからAi-NETコードを抜いてください。

3 「ブラケットと一体になったナビゲーション本体」を車両にしっかり取り付ける。

4 パネル(インパネ)を取り付ける。



Memo

車両雑音から守るために

- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

6. 確認する

1 コード類を固定する。
シートレールなどの可動部などに挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

2 バッテリーマイナス端子を接続する。

3 エンジンキーをONにして、取扱説明書を参考に本機ナビゲーションの動作が正しいことを確認する。

4 ホーン(クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

7. システム接続状況を知る

配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPS感度、車速、接続状況を画面表示で確認することができます。

また、ナビゲーションの動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、接続状況が合っていないからコード類を確認しましょう。

1 ナビゲーション画面で **メニュー** にタッチします。

2 **情報** にタッチします。

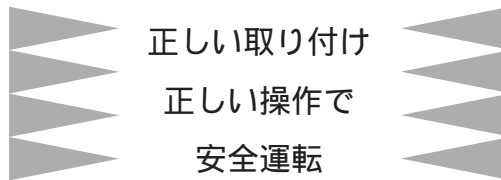
3 **システム情報** にタッチします。

4 システム情報が表示されます。



5 **戻る** にタッチして、自車位置画面に戻します。

[illegible]



- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
<一般回線ご利用のお客様用>
TEL:0570-006636

全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636

- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30～17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- ナビゲーションをお買い上げのお客様には、ユーザー登録をして頂くと、アルパインホームページ上からE-mailでのお問い合わせができます。どうぞご活用ください。
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan (Y-595)
68-02065Z52-A